

フルーツのまちづくり講座 その6 : まとめ



「クラウドファンディングとは」

- 概要/日時:平成 30 年 3 月 23 日(金)19:00~21:00、会場:粉河ふるさとセンター、参加者:13 人、資料代:1000 円。イチゴ大福付き。
- 構成/講義、質疑応答
- 講師/講師:辻 佳伸(つじよしのぶ)さん、和歌山県商工振興課

<講義>

クラウドファンディングとは?外国でミュージシャンの CD 作成を支援するために始まり、まだ歴史は浅い。日本では平成 23 年ごろから普及し始める。Crowd たくさんの人(からの)Funding 資金調達。実現したい案を持つ人が、インターネット上でそのプランを発表し、共感する方から必要な資金を集める仕組みです。

種類は、<投資型>中小企業などが行う数年に渡る事業性の高いもの、金銭・配当金などをリターンする。<購入型>企業・個人・市民団体などが行い、多様な活用方法がある。商品や、サービスをリターン。<寄付型>NPO・公的機関などが行う社会貢献性が高いもの。リターンはなし。などがあります。調達した支援金の受け取り方も、目標額に達したら受け取ることができる場合(All or Nothing)と、達しなくても受け取れる場合(All in)があります。

「流れ」と、プロジェクト掲載時の「ポイント」は①プロジェクト全体の設計、クラウドファンディング事業者への申し込み→②インターネットへの掲載内容、返礼内容の設定→③ホームページへの掲載、資金募集開始→④資金調達終了、目標額達成→⑤手数料が差し引かれた調達資金の入金→⑥返礼送付、継続的な情報発信、という流れで行われます。

プロジェクト掲載時のポイントがいくつかあります。①商品・サービスの魅力や実行者の思いをどうやって伝えるか。○動画や画像を利用したわかりやすさ○人目を引くキャッチコピー○共感を呼ぶようなストーリー性でファンになってもらう。②返礼品をどう設定するか。○いち早く入手できる・数量限定などの特別感○実際に利用する姿がイメージできるワクワク感。○プロジェクトに参加している一体感③プロジェクトの成功に向けてやるべきこと。○周囲の人に事前にお知らせ。スタートと同時に3割ぐらい集まるように○SNS・メディアの活用。ただ掲載すれば集まるというわけではありません。こうしたノウハウは、運営事業者が相談にのってくれます。

資金調達だけでない得るものがある、運営業者もいろいろある。<購入型>クラウドファンディングでできることがいくつかあります。①「資金調達」新商品開発やプロジェクト実行に係る資金を調達②「ファンづくり」一般販売やサービス開始前にファンを獲得③「マーケティング」新商品が市場にどれだけ求められているかの参考データ入手④「実績づくり」成功の実績を基にした販路拡大やPR⑤「事業計画の改善」支援者の声、市場反応をプロジェクト実行に反映⑥「商品のPR」新商品のPR、実行者の思いを公表。資金が目標まで届かなくとも、得られることがいろいろあるということです。

また、国内に150社くらいのクラウドファンディング運営事業者があり、それぞれの特徴があります。社会貢献的なプロ

サイト名	運営者	特徴	手数料	備考
Readyfor	個人宅	地域活性化、社会課題解決のプロジェクト	運営額の17%	支援者の声、市場反応をプロジェクト実行に反映
READYFOR	個人宅	地域活性化、社会課題解決のプロジェクト	運営額の17%	支援者の声、市場反応をプロジェクト実行に反映
クラウドファンディング	個人宅	地域活性化、社会課題解決のプロジェクト	運営額の17%	支援者の声、市場反応をプロジェクト実行に反映

ジェクトに強いところ、地方創生事業部があるところ、ローカルに密着した機関を持っているところなどもあります。

県内の成功事例など参考に、県の支援も活用を

＜事例 1＞プロジェクト名：自転車+バイク=glafit バイク スマートな折り畳み式電動ハイブリッドバイク、事業者名：株式会社 FINE TRADING JAPAN（和歌山市）、結果：わずか3時間で、目標額 300 万円達成。総額 1 億 2800 万円、国内における資金調達額の新記録を達成。

＜事例 2＞プロジェクト名：和歌山・湯浅しょうゆのもろみで仕込んだ、日本酒と愉しむ旨味チーズ、事業者名：コパンドゥ フロマージュ（紀の川市）、結果：目標額 80 万円の倍 160 万円を調達。

＜事例 3＞プロジェクト名：伝統工芸士が織りなす技。薄さ 1mm・桐製のロックグラスで贅沢なひとときを、事業者名：有限会社家具のあづま（紀の川市）、結果：開始から7時間で目標額達成、目標額の3倍以上の約 108 万円を調達。

和歌山県クラウドファンディング活用支援事業というものがあり、創業や新事業展開を目指す際、「クラウドファンディング」を活用して資金調達する中小企業者の取組を支援しています。県が事業計画を認定し、県内外に広く発信するほか、認定された事業者が利用できる低利融資を設定。現在認定件数は 19 件(平成 30 年 3 月 20 日現在)。ご興味あれば和歌山県商工振興課までお問い合わせください。電話：073-441-2744

.....

＜質疑＞※講師からの答えだけでなく、皆が持っている情報を出しあい盛り上がりました。

- ・ HP に掲載する物語や構成を考えるのが苦手な場合は？→クラウドファンディング運営事業者が専門家を別料金で紹介してくれる。手数料に含まれるところもある。
- ・ 手作りマラソンで利用したい。→お金を集めるのと同時に、参加者も集められる可能性がある。
- ・ 返礼品がないとダメなのか？→ゲストハウスなどでは宿泊券とか、部屋の名前の命名権を渡すとか、物でない返礼もできる。アイデア次第。純粋にプロジェクトに寄付したとき、期待してなかったのに地場産品が送られてきたという事例もある。
- ・ こんな商品を作りたいとって相談したとき、運営会社によって得意な分野が様々なので、当社向けではない、他社を利用した方がよいですよと言われたというケースもある。
- ・ 創業や新商品開発のときなど、テストマーケティングのためだけに使ってもいいと思う。
- ・ 目標額に達成しなかったとき、支援者が出したお金をそれぞれに戻すのは？→基本的には運営会社が返金までの手続き。調達期間が終了するまでは起案者は資金に触らない。
- ・ いくらぐらいの設定がいいのか？→3,000 円～5,000 円位までが支援しやすい金額。本当に応援したいなら 10,000 円でも出すと思うが。
- ・ お金集めだけでなく関係作りと思ってやるといい。運営会社が支援者のデータを統計グラフなどにしてくれるので、マーケティングに役立つ。
- ・ 東日本大震災の時、投資型に 10,000 円支援。5 年後から 1,000 円送られて、今でも繋がっている感じがある。
- ・ 運営事業者を紹介してもらえるのか？→県が繋ぐことはできる、相談だけなら無料なのでどんどん起案を。
- ・ 吉野杉活用プランを考え中、クラウドファンディングをやってみたい。

